和風扇子を作ろう

身の回りの物で、和風の扇子を作りましょう。

ジャンル	運動機能改善　介護予防　机上レク　イベントレク
身体面への効果	手指の運動　視覚への刺激
精神面への効果	集中力の向上　思考力の向上　認知力の向上　意欲、期待感の向上　創意工夫　気分転換、爽快感、達成感
介護度	要介護度3　　所要時間　準備：一人当たり３分以上、実践：５分以
性別	男性　女性　どちらも好評です　人数　1人～
道具	(一人当たり予算0円) 爪楊枝　または　竹串　２本、カラフル紐、 千代紙１枚（爪楊枝の場合）または　千代紙　４枚（竹串の場合） 木工用ボンド、黒ペン、コンパス　または　円を描くのに型となるもの、 セロテープ（竹串の場合）、はさみ。
注意点・追加ルール	爪楊枝や竹串の先をはさみで切るときは、切れ端が飛ぶことがあるので注意して下さい。

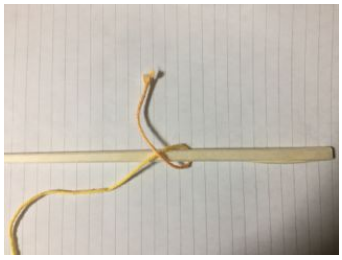
期待効果	指先を使うので、手指のリハビリにもなり、頭も活性化すると思います。

1

準備品：爪楊枝　または　竹串　２本、カラフル紐、千代紙１枚（爪楊枝の場合）または　千代紙　４枚（竹串の場合）
木工用ボンド、黒ペン、コンパス　または　円を描くのに型となるもの、
セロテープ（竹串の場合）、はさみ。

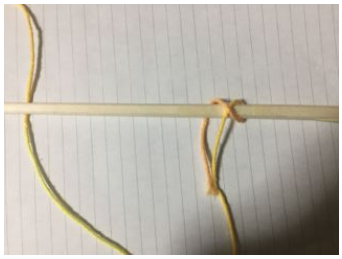
2

準備工程です。
分かりやすい様に、ここでは割り箸で二つの棒を固定する方法を説明します。
巻き結び→はさみ　しばり→巻き結び　を数工程で説明します。
皆さんは、これを爪楊枝　もしくは　竹串で行って下さい。

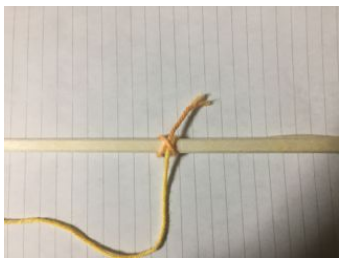


3

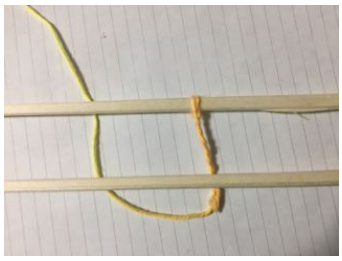
巻き結び続き。



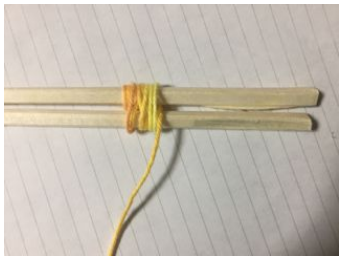
4 巻き結び完成。



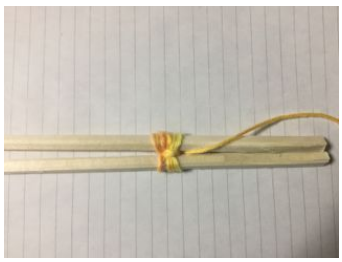
5 短い残りの紐の方と長い方を何度もねじります。



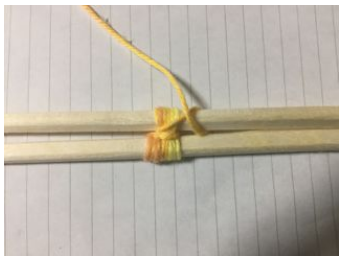
6 ２本の棒の間にそれぞれの棒２本入るくらい間をあけ、５回２本の棒に紐を巻き付けます。



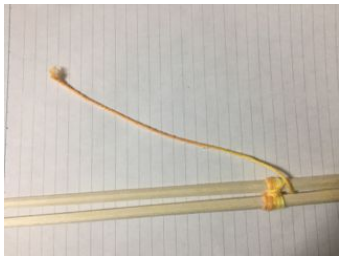
7 ２本の棒の間に紐を向ける。



8 ２本の棒の間を３回きつく紐を巻く。

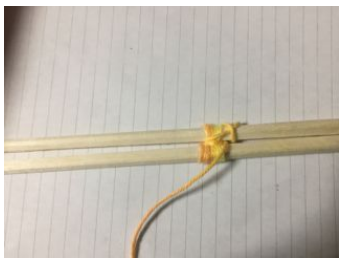


9 向きをかえ再び巻き結びをする。



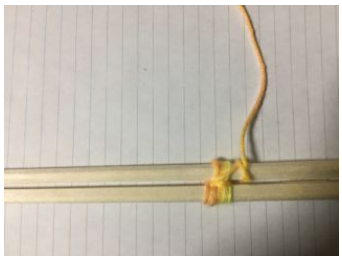
10

巻き結びの続き。



11

巻き結び完成。
これで、はさみ　しばり　も完成です。
紐の先を、短く切って下さい。

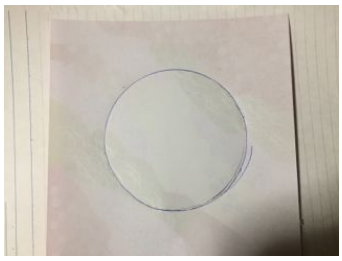


12

爪楊枝だとこんな感じです。

13　２本の爪楊枝を左右に開きます。

14　千代紙の裏にコンパスなどで、円を描きます。
※注意　ここからしばらくの説明用写真は、爪楊枝の場合のものです。



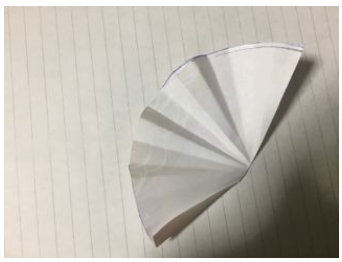
15　千代紙の円を切ります。

16 円を半分に折ります。

17 円を折り目で半分に切ります。

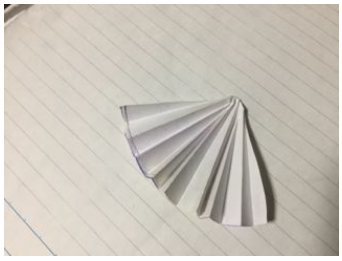
18 折り目をつけます。
ここから、利用者様の実践工程となります。

19 折り目にそって外側から谷折。



20 次は山折です。
これを、折り目にそって繰り返します。

21 折り目がつきました。
もう一枚の半円は、外側から山折、谷折の順番で繰り返します。



22

千代紙を裏にして、それぞれの端から２番目の谷折に爪楊枝を広げてあてます。
爪楊枝の所に、多めのボンドをつけます。
中央辺りに数カ所、少なめにボンドをつけます。

23

もう１枚の紙を折り目を気にかけながら、かぶせて下さい。

24

２枚の千代紙を強めに押さえつけて、合わせて折り目を整えます。

25

２枚の端もボンドでとめます。
突き出た爪楊枝をはさみで切ります。

26

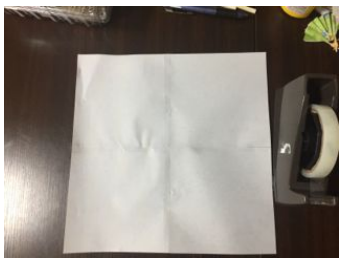
爪楊枝バージョンの扇子は完成です。

27

竹串バージョンは、折り紙を４枚用意します。
２枚づつ同じ模様にし、２種類の模様を使うと綺麗です。

28

４枚の千代紙の裏をセロテープで合体させる。



29

円型に切ります。
模様ごとに、半円に切ります。

30

爪楊枝バージョンと同様に作ります。
竹串バージョン完成です。

31 爪楊枝バージョンと竹串バージョンを比べた写真です。

32 竹串バージョンは表と裏が別の柄です。

33 普段の工作レクレーションにもいいと思いますが、
ひな祭りの写真撮影に使ってみるのもいいのではないでしょうか。